創造

JAいけだ

CREATION

今回の表紙写真は、８月23日に行われた第33回年金友の会パークゴルフ大会の表紙写真です。詳細につきましては、５ページをご覧ください。

CONTENTS

✲25年産 豆類の需給見込みについて
✲しょくいくつうしん
✲21NEWS アラカルト
✲退職のご挨拶
✲畜産部通信
✲金融共済課より
✲営農部通信
✲各部署職員紹介
✲今月の１枚
✲理事会の動き
✲編集後記

2013. 9 SEPTEMBER

No.045

25年産 豆類の需給見込みについて

（1）作付面積の推移（普通大豆を除く）

品種別の北海道・十勝作付面積（前年対比）　（単位：ha）

品　目	H25		H24		H25－H24	
	北海道	十　勝	北海道	十　勝	北海道	十　勝
小　豆　類	26,300	15,900	24,400	14,370	1,900	1,530
大　手　亡	2,200	1,900	2,510	2,244	▲ 310	▲ 344
赤系金時	5,600	4,700	5,439	4,547	161	153
黒　大　豆	3,400	1,000	3,752	1,339	▲ 352	▲ 339
豆類合計	37,500	23,500	36,101	22,500	1,399	1,000

小豆類の面積については、全道で＋1,900ha、そのうち十勝が＋1,530haとなっています。

大手亡については、殆どが十勝で作付されておりますが、作付面積は全道で▲310haの減少。

金時の作付についても、殆どが十勝であり、２年続けての色流れの影響もありながら、高相場により面積は微増となっています。

黒大豆は、消費が鈍く、在庫過多の状況となり、相場も下がったことで全道で▲352ha、十勝でも▲339haの減となっています。

豆類の全道での作付面積（普通大豆を除く）は、38,500haとなり前年比＋1,399ha、小豆に集中している結果となっています。十勝でも豆類面積（普通大豆を除く）は、23,720haで、前年比＋1,000haという結果になっています。

（2）平成25年産道産豆需給見込み

品目別生産量から次期繰り越しの推算（単収は予想単収）

品　目	H25面積（ha）	予想単収（俵/10a）	生産量（俵）	商品化量（俵）	前期繰越（俵）	年間消費量（俵）	次期繰越（俵）	在庫増加率（前期/次期繰越在庫）
小　　豆	26,300	4.0	1,046,700	994,400	432,700	920,400	506,700	117%
大手亡	2,200	4.5	98,800	93,900	42,300	98,100	38,100	90%
赤系金時	5,600	3.3	182,600	173,500	66,000	175,000	64,500	98%
光黒大豆	3,400	3.6	123,100	116,900	72,900	104,000	85,800	118%
計	37,500		1,451,200	1,378,700	613,900	1,297,500	695,100	

※予想単収及び年間消費量はホクレン推算

現段階での需給見込みについては、全道の予想単収を使用し、年間消費量については、５中３の年間消費量で推算しております。

【小豆・大手亡】

小豆は、ここ数年の不安定な供給量を背景に価格が上がり、年間消費量は減少傾向にあります。

見込繰越在庫は43万俵から50万俵まで増加すると予測をしており、安定供給が可能な水準になりそうです。

大手亡は、２年続けての供給不足から、引き合いも強い状況です。豊作基調ではありますが、やや不足の状況でもあり、２等・２格の在庫が少ないことから繰越在庫は減少を予測しています。

【赤系金時】

金時は、作付面積がわずかに回復しています。豊作基調であっても繰越在庫は減少する見込みです。

但し、最近の価格の高騰により、煮豆業界は縮小傾向にあることから、年間消費が約３万俵も落ち込んでいるのが現状ですが、それでも２格の繰越在庫が少ないため、足りない状況が続いています。

【黒 大 豆】

光黒大豆は、価格の低迷もあり面積が減少していますが、消費量も落ち込んでいるため、面積が減少しても、繰越在庫は増加する見通しとなっています。

(3) 今後の情勢

【小豆・大手亡】

本年の豆類の生育は、平年よりも大きく前進しており、生産量についても平年以上の作柄が予想されます。

小豆については、年間消費量に見合った期首供給量となることから、相場は落ち着くものと思われます。

大手亡につきましては、供給不足の状況が続いており、作付の増加を期待されています。

繰越在庫も減少の予測ですが、２等・２格の在庫が少ない状況は今後も続くと考えられます。

小豆、大手亡ともに、外国産を使用するメーカーも有る中で、国産を大切にするユーザーとの結びつきを更に強くする必要があるように思います。

【赤系金時】

最も、作付増を期待されている赤系金時ですが、相場の高騰もあるものの面積は微増となっています。

足りない状況が長く続く反面、消費量も落ち込んでいるため、難しい環境にある状況です。

赤系金時は、輸入への代替えが無く、煮豆業界の縮小は撤退に繋がることも考えられます。

少しでも早く安定供給のできる体制が望まれています。

【黒 大 豆】

一方、黒大豆については、前年の供給不足の影響から、平成24年産の引き合いが非常に弱く、大幅に繰越在庫が増加した状況にあり、作付面積が減少しても、更に在庫が増える見通しとなっています。

過去には、ダイエットブームもありましたが、年間消費量が変わらなければ、今後も厳しい環境が続くと予想されています。

尚、ＪＡでは、需給動向を含む市況、生産状況を十分調査し、買取して参りますので、農協へ全量入庫頂きますようお願い致します。

青年部が地域へ密着!! しょくいくつうしん

こんなに取れました！

大きなイモが出てきた

大人気のトラクター試乗

みんなでおいしく試食会

8月24日(土) 第3回目作業

第３回目作業を終えて

８月24日（土）に今年３回目となる食育活動を行いました。

６家族全てと部員15名が参加し、スイートコーン・馬鈴薯（メークイン・レッドムーン）の収穫作業を行いました。連日の雨と曇りで畑が湿気っている上に当日の天気も良くなく、収穫作業が出来ないのではないかという不安もありましたが、霧雨がさらっと降る程度で作業を実施する事が出来ました。

説明を行った後、「収穫していいよ～」と言うと、我先にと子ども達が収穫を始めていきます。当初、馬鈴薯の収穫にはかなり時間がかかるのではと思いましたが、どんどんと掘っていき、作業はあっという間に終了しました。

その後収穫したスイートコーンと馬鈴薯は茹で・焼きの両方の調理を行い、その場で試食しました。子ども達は「おいしい！」「甘い！」と笑顔で食べていました。

収穫したスイートコーンと馬鈴薯は各家庭で食べられる分を持って行ってもらい、余った馬鈴薯は町の給食センターに提供し、10月の学校給食に出してもらう事となっています。

今後は10月下旬にサツマイモの収穫を行う予定です。現状の生育状況はいまいちですが無事収穫できることを願うばかりです。

（記事・青年部副部長　中西洋一）

店　　舗

Aコープにて高校生職場研修受入

８月21日（水）～23日（金）の３日間で池田高等学校より３名の研修生が当ＪＡのＡコープにて職場研修を行いました。

品出しや精肉作業、青果物や鮮魚での作業など様々な仕事を通して色々と勉強になったのではないかと思います。研修生は「品出しの時などに自分の仕事を行いながらお客様にも気を配る必要があり大変でした」という感想も有り、とても有意義な体験となったと思われます。また、「優しい方ばかりで、楽しく研修が出来ました」と笑顔も垣間見えながらの研修となりました。

（記事・購買部生活課　岩城　諒）

青年部・女性部・フレッシュミズ

農政協合同研修会

池田町農業構造政策推進協議会（会長：勝井町長）主催による、若手農業者向けの研修会が８月23日（金）開催され、ＪＡ高島・池田の青年部・女性部・フレッシュミズと事務局を合わせて総勢、23人が参加しました。

当日は、ＪＡ帯広市川西と東洋農機株式会社にて研修を行いました。ＪＡ帯広市川西では長芋の選果場等を見学させて頂き、「形状規格判定」「パレットへの積込」「貯蔵庫への移動」全て機械（ロボット）によって行われていました。また、東洋農機株式会社では、ポテトハーベスター作業についての注意事項や、ハーベスターが出来るまでの作業工程を見学させていただきました。

参加された皆様におかれましては大変お疲れ様でした。

（記事・営農部営農課　遠藤由梨）

年金友の会

年金友の会パークゴルフ大会開催

年金友の会（会長神谷充雄さん）は、８月23日清見パークゴルフ場において第33回パークゴルフ大会を開催いたしました。当日は雨の予報が出ていましたが、時折太陽も顔を出すようなパークゴルフには絶好のコンディションとなりました。好コンディションの中、90歳以上での参加の方２名を含め、男性32名、女性10名の参加者は、11組に分かれ全36ホールを、交流を深めつつも優勝を目指し、普段の練習の成果をいかんなく発揮するべく一打一打真剣にプレーを行っておりました。競技終了後、表彰式を行いお互いの健闘を称え合いました。参加された皆様大変お疲れ様でした。成績は以下の通りです。

【男性の部】　優勝＝野尻信夫さん　　準優勝＝丹羽幹夫さん　　第３位＝赤坂　登さん
【女性の部】　優勝＝吉田繁子さん　　準優勝＝丹羽久子さん　　第３位＝横田規子さん

また、今大会で今井哲夫さんと原口保さんが見事ホールインワンを達成されました。

（記事・営農部営農課　高山信雄）

白を基調に生まれ変わった本所事務所

本所事務所外壁工事終了
～白を基調に生まれ変わる～

本所事務所の外壁工事につきましては、７月１日～８月12日（月）の約40日間の工事中、何かと組合員の皆様にはご不便をお掛けしましたが、無事終了致しました。

今回の外壁工事では、タイル面とウレタン塗装面を同時に行い、タイル面は、昨年行いましたタイルの打診調査から開始し、浮き・脱落タイルの補修、洗浄、更に撥水剤塗付を行いました。

一方、ウレタン塗装面は、塗装の剥がれ（クラック）を補修後、ガラス繊維のマットを塗りこみ、構造体の強化も同時に図っております。

本所事務所は、本年度でちょうど築40年となりましたが、今後も組合の資産を大切に利用し事務所の維持管理に努めて参ります。

（記事・管理部長　大塚　節）

夕市の会

野菜即売会を開催

販売の様子

８月９日（金）に今年で３年目となる野菜即売会を、池田農協支所・駐車場で開催いたしました。

即売会当日は生憎の大雨でしたが、販売開始20分前からお客さんが訪れ賑わいました。

「ゴーヤ」や「丘わかめ」などの珍しい野菜も並び、お客さんからは「どうやって食べるの？」など調理方法を会員に聞く姿も見受けられました。また、トウモロコシやキュウリ・トマト、切り花などは、とてもお客さん方に人気で、沢山買って頂きました。

当日ご参加いただきました皆さん、大変お疲れ様でした。

（記事・営農部営農課　遠藤由梨）

輸送時の様子

施　設　課

「青果物（空コンテナ）委託輸送」実施

玉葱・馬鈴薯の原料やコンテナの委託輸送の実施に向け取り組んでおり、昨年に引き続き玉葱部会員から委託を受け第１弾として空コンテナ（1,500kg）をユニック車での輸送で８月21日に実施致しました。（240基）時間にしますと約３時間程度で終了しましたが、今後は原料の委託輸送も増加して行くと予想されます。又、収穫も本番となり何かと忙しい時期となり原料等の委託輸送時間を利用し他作業も従事出来るメリットや農作業と輸送での疲労も解消出来ると思いますので是非ご利用ください。

ＪＡ助成（原料運搬に対し）⇒ 1,500kg/1基/200円・600kg/1基/100円
運搬代 ⇒ １時間当たり7,000円（税込）・7,500円（税別）⇒ ２社の為
委託依頼申込 ⇒ 委託輸送日の２日前迄に、施設課へお申込ください。

（記事・農産部施設課次長　山内　守）

多数の出席で、皆様真剣に聞き入っておりました

畜　産　部

H25黒牛部会研修会

　８月26日、ＪＡ会議室において標記研修会が開催されました。

　当日は畜産試験場より鹿島氏、西村氏、遠藤氏の３名をお招きし、３つのテーマに基づいて講義頂きました。

　鹿島氏からは、優良雌牛（繁殖成績良く、審査得点・育種価が高い牛）からの後継牛生産を目的とした、試験場とＪＡの取組みについてお話頂きました。次世代を担う繁殖牛の能力向上のためには、高能力産子の保留推進が重要であります。今後は実際に各牧場の高能力牛をリスト化、また保留目的の交配シミュレーション帳票を作成・配布し皆様にご活用頂く予定です。

　続いて西村氏より哺育・育成管理の手引書を配布するとともに、道内の優良事例を紹介して頂きました。また、遠藤氏からは試験場で行っている負担の少ない去勢法「楽チン」について動画等により、非常にわかりやすく紹介して頂きました。簡単・かつ安全に行える去勢法ですので、興味のある方は是非お問い合わせください。

（記事・畜産部畜産課　米川　武）

退職のご挨拶

岩浪偉恭

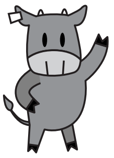
　初秋の候、組合員並びにご家族皆様におかれましては、ご健勝の事とご推察申し上げます。

　さて、私事でございますが、この度平成25年8月末日をもちまして定年退職を迎えることができました。

　この38年5ヶ月の永きに亘り、多くの組合員・役員と諸先輩・同僚と沢山の方々に支えられ育てて戴いて、定年を迎えることに心より感謝とお礼を申し上げます。

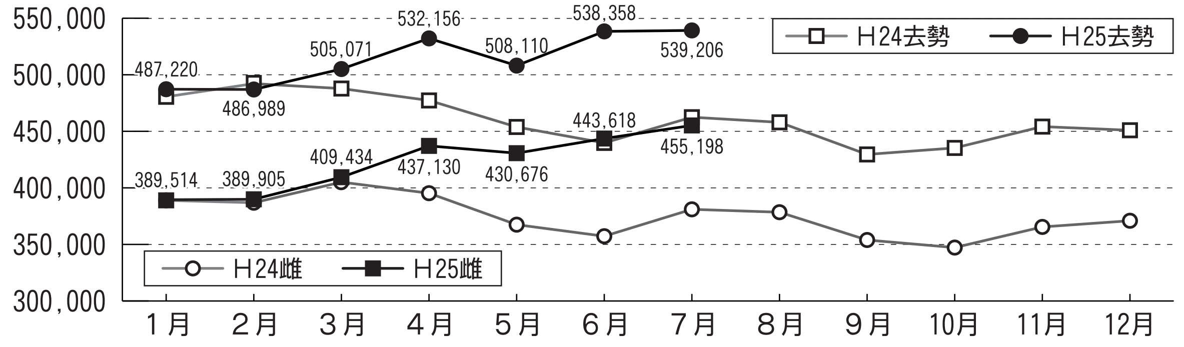
　思い起こせば農協学校卒業後、昭和50年4月に池田町農協に奉職し、生産資材係を皮切りに60年金融共済課に異動し、合併時には支所金融共済係、平成3年本所金融共済課、平成10年支所管理課、平成15年営農企画振興室、平成17年支所、平成18年営農企画振興室、以後定年まで営農畑と様々なことが思い浮かばれます。

　今後も農業情勢は、消費増税・異常気象・TPP参加による諸問題への対応を迫られ、将来の方向性を含め不透明ですが、過去より脈々と流れる先人たちの血が受け継がれながら幾多の苦難を乗り越えてきました。更に組合員、役職員の英知と強い絆を持って結集し、池田町の農業が発展しますよう心よりご祈念申し上げますと共に組合員、役職員並びにご家族皆様のご健勝とご多幸を心より申し上げまして定年退職のご挨拶とさせていただきます。



畜産部通信 畜産部 畜産課

平成24～25年ホクレン十勝家畜市場黒毛素牛平均価格（十勝）



7月黒毛素牛出荷区分別成績

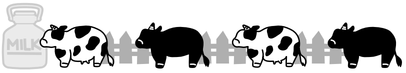
【金額（円）】

			取引頭数	平均価格（税込）	参加率・認定率
去勢	十勝	和牛素牛	712	539,206	
		マニュアル参加牛	398	549,242	55.9
		マニュアル認定牛	131	571,136	18.4
	池田	和牛素牛	26	557,048	
		マニュアル参加牛	23	557,048	88.5
		マニュアル認定牛	7	576,600	26.9
雌	十勝	和牛素牛	521	455,198	
		マニュアル参加牛	318	460,336	61.0
		マニュアル認定牛	60	495,408	11.5
	池田	和牛素牛	36	447,592	
		マニュアル参加牛	31	443,506	86.1
		マニュアル認定牛	5	451,080	13.9

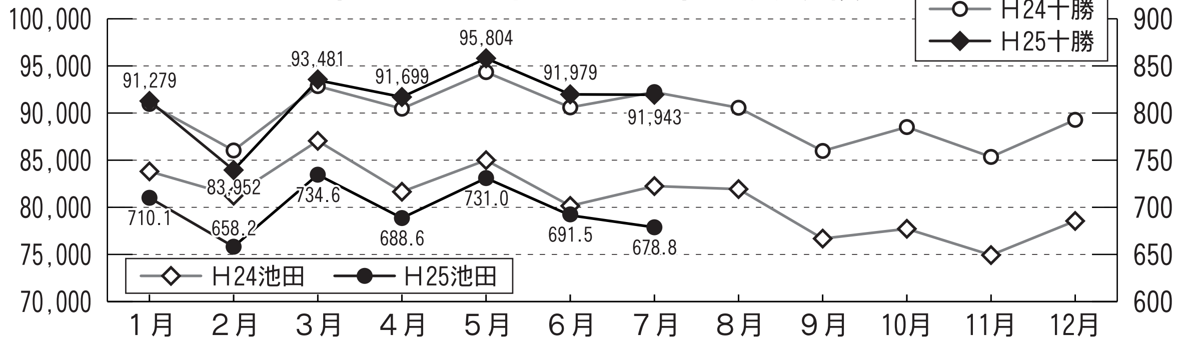
7月ホクレン十勝枝肉市場

【金額（円）】

開催日	区分		取引頭数	平均価格（税込）
6日 27日	黒毛去勢	A－5	1,879
		A－4	1,787
		A－3	1,658
	黒毛メス	A－5	1,861
		A－4	1,790
		A－3	1,644
	F1去勢	B－3	1,155
		B－2	1,066
	F1メス	B－3	1,196
		B－2	1,057



平成24～25年 生乳取扱実績



7月ホクレン十勝乳牛市場

【金額（円）】

開催日	区分	取引頭数	平均価格（税込）
1日	乳牛育成	370	260,726
8日	乳牛初妊	632	524,508
	乳牛経産	107	280,674

7月十勝中央家畜市場

【金額（円）】

区分	平均価格（税込）
乳牛オス初生	62,204
F1オス初生	184,356
F1メス初生	130,402
廃用牛	135,485

北海道農政事務所帯広地域センターからのお知らせ

牛を飼養する管理者の皆さんへ！

個体識別耳標は必ず 両耳に装着 してください！

【耳標の装着】

〇牛トレーサビリティ法※に基づき、牛の管理者は、**牛の両耳**にその牛の個体識別番号を表示した**耳標を着けなければなりません。**

（第９条２項）

※「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」

〇独自耳標で牛を管理されている場合でも、個体識別耳標は**両耳に必ず着けなければなりません。**

速やかに
再発行！
速やかに
再装着！

【耳標が脱落した場合】

〇耳標が脱落した場合は、**速やかに農協に再発行申請**を行いましょう。

〇耳標到着後は、**速やかに耳標を着けてください。**

〇耳標の**装着漏れが、耳標の誤装着**に繋がります。

農政事務所では、牛の管理者の方々に対して、耳標の装着状況等を確認する巡回調査を実施しています。調査にご協力をお願いします。

金融共済課より

農業者年金にみんなで加入しましょう

奥様や後継者も ぜひ加入を !!

しっかり積み立て
がっちりサポート
安心で豊かな老後を

農業従事者なら誰でも加入できます。

60歳未満の国民年金の第一号被保険者であって年間60日以上農業に従事するものであれば誰でも加入できます。

＊農業法人の構成員でも上記条件を満たせば加入できます。

積立方式で安心した財政運営です。

積立方式で年金額は加入者・受給者数に左右されない、少子高齢時代に強い制度です。

＊積立金は運用され利息等も加算されますが、もしも65歳の年金裁定時に積立金運用益累計がマイナスの場合は、マイナス分が補填されます。

保険料は自由に選択できます。

月額2万円から6万7千円までご自身のライフプランに合わせて保険料を自由に選択できます。

＊国庫助成を受けながら保険料増額はできません。

税制面でも大きな優遇があります。

保険料は最大80万4千円の社会保険控除（収めた保険料の15から30％程度の節税）。

支払われる年金にも公的年金控除が適応されます。

80歳までの保証がついた終身年金です。

年金は終身受給できます。加入者や受給者が80歳になる前に亡くなった場合は、80歳までに受け取ると仮定した金額を死亡一時金として遺族が受け取れます。

保険料の手厚い国庫助成があります。

認定農業者等一定の要件を備えた意欲ある担い手に対して、保険料（月額2万円）の2割、3割又は、5割の政策支援（保険料の国庫助成）があります。

★ *国民年金だけでは老後の生活が大変だと言われています。*
一人ひとりが農業者年金に加入して、安心な老後を築きましょう ★

詳しい内容を知りたい、家族協定の事を聞きたい。
農業委員会（TEL572-3126）にお問い合わせください。

加入手続きは、
JA十勝池田町で取り扱っています。

担い手積立年金

発行：池田町農業者年金協議会
（池田町農業委員会内）

農業の担い手には、手厚い政策支援（保険料の国庫補助）があります

保険料補助は次の3つの要件を満たす方が受けられます

① 60歳までに保険料納付期間が20年以上見込まれること。

＊旧制度加入者（脱退一時金又は特例脱退一時金を受給した者は除く）は、旧制度の保険料納付済期間等も合算できます。

② 必要経費などを控除した後の農業所得が900万円以下であること。

③ 次の区分の1～5のいずれかに該当する人

区分	必要な要件	国庫補助額	
		35歳未満	35歳以上
1	認定農業者で青色申告者	10,000円（5割）	6,000円（3割）
2	認定就農者で青色申告者	10,000円（5割）	6,000円（3割）
3	区分1または2の者と家族経営協定を締結し経営に参画している配偶者又は後継者 ＊家族経営協定については、農業委員会にご相談ください。協定内容について何点かご家族で決めていただき、その内容を協定書にします。手続は簡単ですので、お気軽にご相談願います。	10,000円（5割）	6,000円（3割）
4	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす者で、3年以内に両方を満たすことを約束した者	6,000円（3割）	4,000円（2割）
5	35歳まで（25歳未満の場合は10年以内）に区分1の者となることを約束した後継者	6,000円（3割）	

＊保険料の国庫補助を受ける期間の保険料は2万円で固定され、加入者が負担する保険料は2万円から国庫補助額を差し引いた金額となります。

最長20年間、保険料補助が受けられます

保険料の補助が受けられる期間は、

① 35歳未満であれば要件を満たしているすべての期間

② 35歳以上であれば10年以内

通算して最長20年間（補助額は最高216万円）です。

国庫補助額も自分の年金として受け取れます

国庫補助額とその運用益は、個人ごとに積み立てられ、原則65歳から特例付加年金として受給できます。

特例付加年金を受給するには、農地等の経営継承が必要ですが、経営継承の時期についての年齢制限はありません。

自分で積み立てした分は、65歳から農業者老齢年金として受給することができますので、65歳から農業者老齢年金を受給しながら農業を続け、本人の体力などに応じて特例付加年金の受給時期を決めることができます。

発行：池田町農業者年金協議会

営農部通信 営農部 営農課

▶人間ドック後期取りまとめについて

９月２日付けでＦＡＸ及び郵送にてご案内しておりますが、再度広報にてご案内致します。
健康管理と病気の早期発見のため１年に一度は必ず受診されるようお願い致します。

１．受診対象者　正組合員または同居の家族

２．受 診 料 金　３０，４５０円

３．助 成 金 額　下記表の通り

	農 協 助 成	池田町助成	個人負担額
４０歳未満	１１，０００円	な　し	１９，４５０円
４０歳以上	１１，０００円	７，９１０円～ ※１	１１，５４０円
７５歳以上	１１，０００円	８，９１０円～ ※２	１０，５４０円

※１：今年度40～74歳になる方（国保加入者のみ、特定健診の扱い）
※２：健診当日75歳以上の方（後期高齢者健診の扱い）

４．実　施　日

男　性（45名）		女　性（30名）	
１１月１４日（木）	５名	１１月１３日（水）	５名
１１月１８日（月）	５名	１１月１５日（金）	５名
１１月２１日（木）	５名	１２月１１日（水）	５名
１１月２５日（月）	５名	１２月１３日（金）	５名
１１月２６日（火）	５名	１２月１８日（水）	５名
１２月　５日（木）	５名	１月１０日（金）	５名
１２月　９日（月）	５名		
１月　６日（月）	５名		
１月　７日（火）	５名		

５．取りまとめ期日　平成２５年１０月１０日（木）
※希望日については申込順です。
予定数が埋まった場合は別の実施日に農協で振り分けます。

６．申　込　先　ＪＡ十勝池田町　営農課までＦＡＸ及び郵送にて送付している申込書にてお申し込みください。
ＴＥＬ　５７２－３１３１　ＦＡＸ　５７２－３５１９

各部署職員紹介

金融部 金融共済課

日頃より金融共済事業をご利用いただきまして誠にありがとうございます。池田町内で最も明るく親切・丁寧で愛される金融店舗を目指しております。今後ともよろしくお願いいたします。

山岸真美 職員

ここ最近よくつまずくようになりました。運動もしていないのにあざが絶えません。
あざの治りも徐々に遅くなりました。悲しいです！
健康とダイエットのために、飽き性の私でも続けられる運動を模索中です！（後列左から１番目）

遠近恵子 職員

体力と足には自信があったのに、先日100m走で子供に負けました。
このままでは悔しいので、子供と一緒に陸上の練習をしていますが、今度は体力が続かない…。
負けず嫌いの性格の私でも、今度ばかりはどうにもならないようです（苦笑）。（後列左から２番目）

野々村麻希 職員

運動不足解消のため、３年前からロードレーサーに乗っています。好きなコースは上り坂の多い道です。よく、犬に追いかけられるのが悩みです。200㎞くらい余裕で乗れる選手になれるよう日々トレーニングです。（後列左から３番目）

秋野健太 職員

最近痩せた？ご飯食べている？と聞かれることが多い、結婚６年目２児の父、秋野です。
今年は長女が幼稚園に入園し、こどもの成長の早さに日々驚かされています。
金融共済課では融資を担当していますが、融資以外の内容でも気軽に声をかけて下さい。
（前列左から１番目）

折笠大輔 課長

いつの間にか金融共済課で丸８年の勤務となり、一番の古株になってしまいました。身体はだんだん丸くなって着られないスーツが何着も出来、捨てるに捨てられません（笑）。背伸びをせず、まずはウォーキングを行って体質改善を図りたいと思います。
（前列左から２番目）

花本 敦 部長

運動不足解消に、中学から始めたバスケットボールを今も週２回体育館に通い汗を流しています。昨年はシニアの全国大会に出場し１勝することができました。共済等の推進にも汗を流したいと思いますので、宜しくお願いいたします。
（前列左から３番目）

石丸 稔 職員

今年の人間ドックでかなりの指摘を受けてしまいました。体に気を使わないといけない年齢になったんだと実感しています。
体調をしっかり管理し、組合員さんのお役に立てるよう頑張ってまいります。
（前列左から４番目）

☞ 次号は金融部池田支所を紹介します!!

理事会の動き

第６回
〈平成25年８月30日〉

★ 報告事項 ★

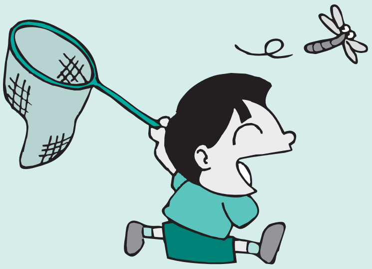
(1) 組合員の加入脱退について
(2) 組合財務の現況について
(3) 小麦の受入状況について
(4) 農産物の生育状況について
(5) 平成25年産買取豆類の取扱について
(6) 東部十勝農産加工農業協同組合連合会への施設整備預け金拠出について

★ 議　　案 ★

(1) 組合員の持分譲渡並びに新規加入承認願いについて
(2) 池田町農民同盟に対する分担金の拠出について
(3) 秋季地区懇談会の開催について

★ 協 議 案 ★

(1) 特定組合員の経営協議状況について



今月の１枚

馬鈴薯収穫作業開始！

今月の一枚は清見地区の馬鈴薯収穫作業を撮影した一枚です。

８月下旬よりスタートしました馬鈴薯収穫作業ですが、９月はより本格的に作業が行われているかと思います。

農作業事故等十分に注意していただきたいと思います。

編集後記

お盆休みに実家へ帰省したとき、高速道路のインターで「本年、３件の事故で４名が死亡した」との張り紙がありました。そのどれもがスピードの出しすぎによる事故だそうです。ぺちゃんこになっている車の写真を見て、自分も気をつけなければならないなと感じました。

これから、農作業が忙しくなってくる中、農作業事故もそうですが、車での交通事故も十分注意して安全に運転しましょう。

（武田）